

# 平成26年度 公共事業事後評価

しょきみちさわ

## 塩木道沢 火山砂防事業

(伊東市 宇佐美 地先)

交通基盤部 河川砂防局 砂防課

位置図

伊東市

「塩木道沢」(伊東市宇佐美)箇所図

至 熱海

**【保全対象】**  
 保全人家：57戸  
 伊東市道：650m  
 二級河川：伊東宮川  
 耕地：0.1ha(畑)  
 幼稚園、JR線(伊東線)

被害想定区域  
 保  
 幼

**【塩木道沢】**  
 砂防堰堤1基(不透過型)  
 計画捕捉量：1,655m<sup>3</sup>

流域面積：0.1km<sup>2</sup>



# 事業概要

溪流名：塩木道沢

箇所：伊東市 宇佐美<sup>地先</sup>

事業期間：平成16～21年度

事業費：326百万円

事業量：

砂防堰堤工 1基(不透過型)

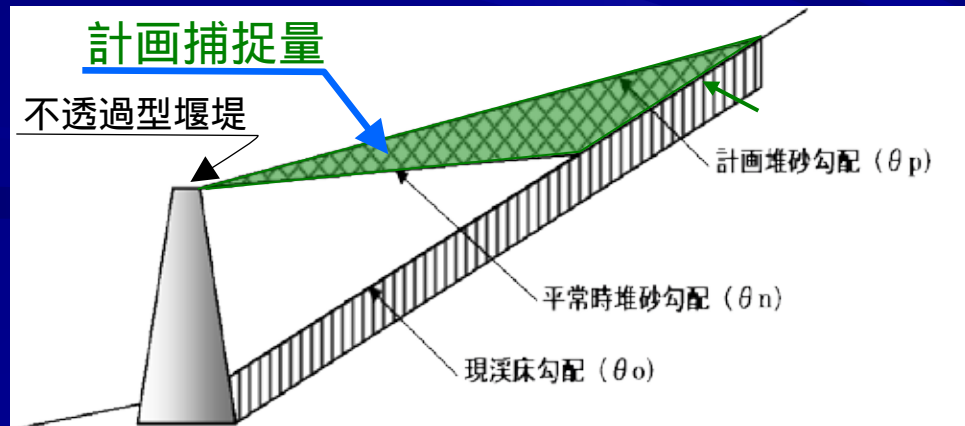
高さ12.5m 堤長59.5m

堤体立積 3,790m<sup>3</sup>

計画捕捉量 2,965m<sup>3</sup>

堰堤工(不透過型)下流正面より

落差10.6m  
(地中を含んだ高さ12.5m)



# 費用対効果の算出

総便益 (B)

【基準年：平成26年】

総便益 32.85 億円

直接被害

- ・家屋被害
- ・道路被害
- ・鉄道被害
- ・人身被害(逸失利益)

間接被害

- ・家計における応急対策費
- ・人身被害(精神的損害)

総費用 (C)

【基準年：平成26年】

総費用 3.19 億円

- ・建設費
- ・維持管理費



費用対効果

B / C : 10.30 (当初 : 12.84)

# 事業効果の発現状況

平成23年富士宮市で発生した土石流

白水沢



【効果発現】  
塩木道沢においても堰堤設置により  
事業効果が期待できる。



土石流を堰堤で捕捉

平成25年西伊豆町で発生した土石流

ライヤ川:土石流発生前

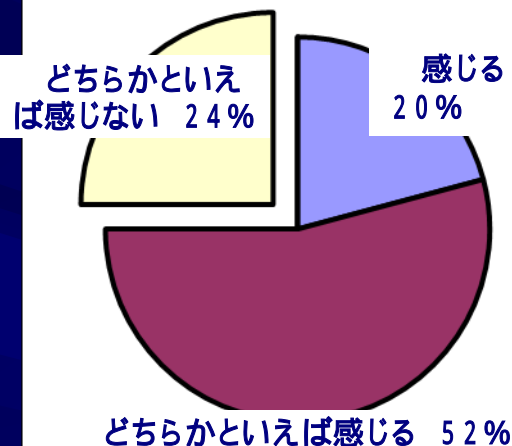


土石流捕捉状況



# 事業効果の発現状況

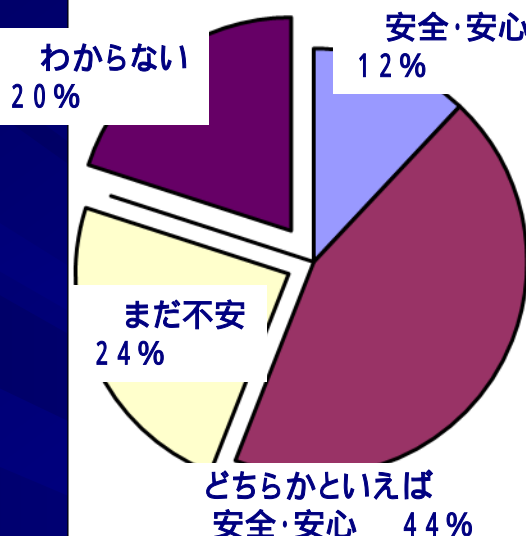
①.伊東市は、土砂災害が発生しやすい方だと感じますか？



無回答: 1名

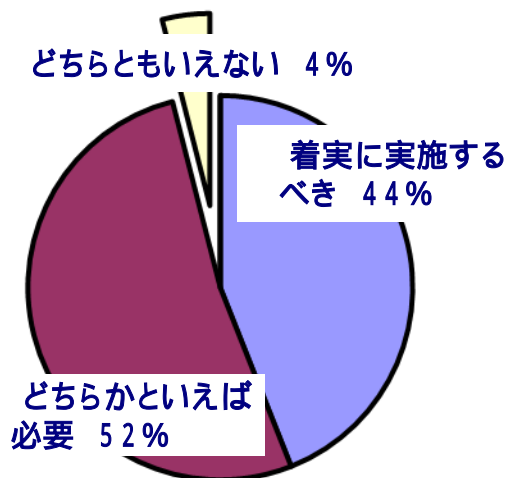
- 感じる
- どちらかといえば感じる
- どちらかといえば感じない
- 感じない

「塩木沢道」堰堤完成後の安心感は？



- 安全・安心を得られた
- 安全・安心感をどちらかといえば得られた
- まだ不安
- 危険を感じる
- 分からない

静岡県での土石流対策は？



- 着実に実施すべき
- どちらかといえば必要
- どちらともいえない
- 必要性がなくなっている

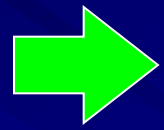
- ・ 平成26年3月調査
- ・ 宇佐美地区の塩木道町内会に住む住民40世帯を対象に実施  
うち有効回答数25世帯

- 引き続き、着実な執行に努める。
- 警戒避難体制整備などソフト対策を進める。

# 事業実施による環境の変化



袖部施工直後



植生が繁茂している



現在

# 事業を巡る社会経済情勢等の変化



「塩木道沢」堰堤  
整備前状況  
(伊東市宇佐美地区)

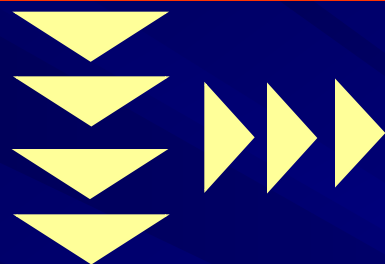


新しい集合住宅の建設



# 今後の課題と対応方針

人的被害をなくすためには、



砂防堰堤の設置(ハード対策)

## 地域と連携した ソフト対策の推進

- ・土砂災害警戒区域における警戒避難体制作り
- ・防災意識の向上

避難体制



土砂災害防災訓練



防災意識の向上

## 適切な維持管理

- ・異常気象後のパトロール

パトロール

